



令和6年度 私立学校初任者研修 九州地区研修会



<写真は令和5年度研修会の様子>

私立学校初任者研修は、私立学校に新たに採用された先生～教員歴5年程度の先生を対象とした研修会です。九州地区研修会は福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の各県から毎年多くの先生方が参加し、研鑽を積んでいます。

会 期 令和6年7月3日(水)～7月5日(金)
研修会場 博多サンヒルズホテル(福岡県福岡市)
参加費 24,000円

参加ご希望の方は、別紙「実施案内」の参加申込書を各県私学協会宛に郵送してください。

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会・九州地区私立中学高等学校協議会
実施 福岡県私学協会

九州地区初任者研修会では

1. 私学教育を知る

これからの時代を生きる生徒たちに求められる教育の在り方や、私立学校ならではの「建学精神」の重要性について講義を通じて学び、深く考え、「私学人」としての意識と自覚を高めます。学校という日常の世界からここで一度外の世界に目を向けて、私学教員となった自分の姿を客観的に見つめてみましょう。

2. 生徒指導・学習指導のスキルアップをはかる

日々の仕事の中で出会う様々な教育課題を採り上げて、こうした課題に取り組んでいらっしゃる経験豊かな講師をお招きして、お話しをうかがいます。その講義をもとにグループ討議を行い、参加者同士が情報共有や意見交換を重ねて知識を深め、スキルアップを図ります。今年度は、①やる気を引き出す学習する空間づくり、②アクティブラーニングの視点からの授業改善について、多くの時間をかけて研修します。



「事前レポート」に研修前の自分の考えをまとめる。それを起点として⇒「講義」を聴いて新たな知識や技能を修得する。それを参加者が持ち寄って⇒「グループ討議」「グループ発表」を行って…、という研修プロセスは初任教員の皆さんにはハードかもしれません。でも仲間との協働で得た成果によって、最後には「私も二期からまた新たな挑戦を…」、という意欲が湧いてくるはずで



pixta.jp - 19667145

3. 他校の先生との交流を通じてネットワークをつくる

教育上のテーマを決めた講義やワークの研修も大切ですが、参加者同士が日常の悩みや不安を語り合い、励まし合いながら、私学教員間にネットワークを構築することも、この初任者研修会の大きな目的です。「経験交流会」の時間を設けているので、参加者の皆さんは、自分の新しいホームグラウンドを作ってみてはいかがでしょうか。



前年度参加者の声 (参加者アンケートより)

研修Ⅰ「未来の時代を読む契機」

- 「今の教育とこれからの教育」を考えることができ、自己の教育のあり方を考えることができました。
- 教職員という職業であるため、生徒をより良い将来へ向かえるようにするためにどのようなスタンス、考え方で先生として取り組むべきなのかを学ぶことができました。

研修Ⅱ「《私学と教育》協奏・狂想曲!？」

- 一つ一つの言葉が心にしみ、学校に戻り、より良い指導をしようという気持ちが更に強くなった。頂いた言葉を自分なりに理解して生徒に伝えていきたい。
- 生徒と関わる上で、思い込みや価値観に惑わされず、家庭環境等の内面・心情を考慮していきたい。自分達の理想の生徒像を目指す学校を作る意識を持っていきたい。

研修Ⅲ「新任教師としての心構え～マナー・保護者対応～」

- 印象は大事なのだと改めて思いました。動画で自分自身の聞き方、話し方を見て、話す時には表情はあるのに、聞く時には表情がなく、怖い印象でした。生徒や保護者と話す際、怖い印象ではなく、優しい印象を与え、この先生になら、話したい、聞いて欲しいと思われるようになりたいと思いました。
- 前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)の特に前に踏み出す力をまずやっていたいこうと思いました。また、教員とは生徒にとって一番身近にいる大人なので、しっかりと自覚を持って過ごしていこうと思いました。

研修Ⅳ「未来に生きる子どもたちに必要な力とは?～授業改革をどう進めるか～」

- 学校は社会に出て行くための準備期間であるにも関わらず、現実には社会から遅れを取り過ぎているという実態を受け止め、まずは自分が変化している社会について勉強し、生徒と学んでいきたいと思いました。
- 授業改革をすることが必要という言葉が印象的でした。ICT 導入はしているものの、板書もしている現実に授業方法を考え直さないといけないと考えさせられました。一方的なインプットではなく、デジタルを活用したアウトプットが大切だと学び、今のデジタル社会に生きる ICT に強い生徒の現状を理解し、上手に ICT を活用したいと思いました。

全体を通して

- 他県の私立の状況やこれから挑戦しようと考えていたことについて講義で聞くことができ、大変勉強になりました。
- 同世代の先生方の授業内容をお聴きし、刺激になりました。今後の糧としたい。
- 研修を通して様々な先生と関わり、多くの意見を知ることができました。
- 同じ県の先生だけでなく、他県の先生方との交流はとても刺激になりました。
- 今後もこのような学びの場が多く設けられればと思います。
- 学んだ事を実践したいという気持ちを強く抱くことができ、意欲が高まりました。
- 私学の先生方との交流は貴重な経験となった。今後も是非このような機会が必要だと思います。
- 新しい知識や仲間との出会いはかけがえのないものだと感じました。
- 私は新任だったので、私学の事をよく知らなかったが、講義や討議を通して知識を得る事ができて良かった。
- 他県の先生とコミュニケーションを取る事で学校に対する考えを開くことができ非常に良かった。
- 普段学校では学べない事が学べて、さらに同年代の方々と交流ができ、大変充実した3日間でした。
- 教員になってからも「学ぶ場」を設けて頂いて、大変貴重な経験になりました。
- 様々な経験をしている先生方に会えて、経験を自分の行動へと移していきたい。私学の先生方との交流は貴重な経験となった。今後も是非このような機会が必要だと思う。
- 新しい知識や仲間との出会いはかけがえのないものだと感じました。

歓迎の言葉



私立学校初任者研修
福岡県 地区運営委員
新田 光太郎
筑陽学園中学高等学校
理事長・校長

これからの九州の私学を担う先生方を福岡にお迎えし、令和6年度私立学校初任者研修九州地区研修会を開催できることに心から感謝申し上げます。先生方と学ぶ機会をいただいて、私自身がワクワクしています。

未来からの留学生である子どもたちにとって、「何を学ぶ」「何処で学ぶ」がとても大切になっています。つまり、少子化が進む中で選ばれる学校になることが、私立学校において重要なことです。そのためには、学校の「現状打破」が必要とされているのです。先生方の「気づき・考え・実行する」姿勢が求められています。

さて、今回の研修会では「私立学校の教員として理解すること・必要なこと」を意識して、研修テーマを「やる気を引き出す学習する空間づくり」と「アクティブラーニングの視点からの授業改善」の2点に絞っています。なぜなら、この二つが「選ばれる学校」になるための現状の課題だからです。参加される先生方の学校やご自身の課題解決に繋がることを切に願うばかりです。

最後に、九州各県からの先生方のご来福を万全の準備をしてお待ちしています。また、本研修会開催にあたり、準備からご尽力いただいた皆様に心から感謝を表してご挨拶いたします。

研修会場アクセス

博多サンヒルズホテル 〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町 13 番 55 号

電車利用

天神駅から 天神駅 → 中洲川端駅 → 馬出九大病院前駅 → 徒歩（500m 約7分）

博多駅から 博多駅 → 吉塚駅 → 徒歩（200m 約3分）

バス利用

天神地区から 天神大和証券前、天神高速バスターミナル前 → 吉塚営業所 → 徒歩（約1分）

